



2017年4月21日

各 位

会 社 名 日本アジア投資株式会社
 代表者の役職名 代表取締役 細 窪 政
 (コード番号 8518 東証一部)
 問 い 合 せ 先 常務取締役 下村 哲朗
 T E L 03 (3259) 8518

「従来連結基準(注)による見込値」の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2016年5月10日に公表いたしました「従来連結基準(注)による見込値」を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 「従来連結基準(注)による見込値」の修正

2017年3月期連結累計期間 (2016年4月1日～2017年3月31日)

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表見込値 (A)	5,100	700	550	375	22.53
今回修正見込値 (B)	3,850	700	550	375	21.57
増減額 (B-A)	△1,250	—	—	—	—
増減率 (%)	△24.5	—	—	—	—
(参考) 前期従来連結基準 (注) 実績値 (2016年3月期)	4,043	82	612	597	42.16

2. 修正の理由

プライベートエクイティ事業において、第4四半期に見込んでいた大型の投資案件の売却交渉が3月末までに完了せず翌期にずれ込んだため、営業収益が前回発表見込値から減少いたしました。

なお、利益については、前回発表見込値からの修正はございません。

プライベートエクイティ事業においては、期初に売却を想定していた銘柄よりも利益率の高い銘柄の売却を実現いたしました。また、営業投資資産の入れ替えが進んだため、投資損失引当金繰入額や営業投資有価証券評価損の発生額が期初見込みよりも少なくなりました。再生可能エネルギー投資事業においても、期中に売却したメガソーラープロジェクトの売却益が期初見込みを上回りました。

これらの結果、上述の第4四半期に見込んでいた株式売却益の減少が補われたため、利益の修正は発生しておりません。

3. 「従来連結基準（注）による見込値」について

当社は、業績予想につきましては、当社グループが展開する投資事業全般はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて「従来連結基準（注）による見込値」を参考情報として開示しております。

なお、「従来連結基準（注）による見込値」は、当社グループが現時点において入手可能な情報及び一定の前提に基づいており、実際の数値は様々な要因により異なる可能性があります

（注）従来連結基準

当社グループでは、平成19年3月期より、「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」（企業会計基準委員会 平成18年9月8日 実務対応報告第20号）を適用し、当社グループで運営している投資事業組合等の一部を連結の範囲に加えて連結財務諸表等を作成しております。

しかしながら、投資家及び株主の皆さまに、当社グループの経営成績及び財務状況を正しくご認識頂くためには、従来からの会計基準による財務諸表等の開示も必要と考えており、参考情報として、従来からの会計基準に従って、投資事業組合については、資産、負債及び収益、費用を外部出資者の持分を含まない当社及び関係会社の出資持分に応じて計上し、また、会社型ファンドについては連結の範囲から除いた連結財務諸表等を「従来連結基準」として継続的に開示しております。

以 上